

ネブラ・ディスクのレジン工作



ネブラ・ディスクとは 1999 年にドイツの古代遺跡で発見された世界最古の天文盤で、紀元前 1600 年頃に作られたと言われています。直径約 32 cm の青銅器製円盤の上に、月や星をモチーフにした美しい金の装飾が施されています。

今回のワークショップでは、謎と神秘を感じるこのネブラ・ディスクをレジン工作で再現してみ、古代の人々の天文や自然に対する知識に触れてみたいと思います。

【ワークショップの内容(予定)】

- ・ネブラ・ディスクについて。概要の講義。
- ・ネブラ・ディスクのデザインをモチーフにしたアクセサリーをレジンで工作。直径 3.5cm のミール皿で一人 1 個～2 個作ります。
- ・ネブラ・ディスクは暦に関係していて、月や太陽の運行を古代人が観察して制作したと考えられています。ネブラ・ディスクが表している空を天文アプリで再現してみます。

日時：2025 年 2 月 9 日（日）13:30～16:30

場所：明石市立天文科学館 2 階 天文ホール

- 参加費 一人：1,000 円(材料代として)
- 募集人数 小学校高学年以上 6 名程度。応募人数により抽選となる場合があります。
本ワークショップは会員限定です。
- 募集締め切り **2025 年 1 月 29 日（水）**
- 申し込み方法 天文科学館ホームページ内「星の友の会」のページの、サークル活動の項目にある申込フォームから申し込みください。12 月 22 日から受付開始します。
(ホームページからの申し込みが難しい場合は電話等でお問い合わせください)
抽選結果は募集締め切り後に申込フォームに入力いただいたメールアドレス宛にお送りします。
- 申し込み・お問い合わせ 明石市立天文科学館：電話 078-919-5000 星の友の会事務局
e-mail：hositomo-tenmon@city.akashi.lg.jp
- その他 当日は汚れてもよい服装でお越しください。
筆記具を持参してください。工作に使用する材料と道具はスタッフが準備します。

うちゅうかがくサークル・ワークショップは、会員による手作り勉強会です。

星の友の会会員の方は、どなたでも参加できます。

今後の予定は 25 年 3 月～4 月に「フィルム写真撮影と現像」のワークショップを計画しています。詳細が決まればお知らせします。